

(様式第6号) (第53条関係)

施工状況等報告書

28上伊広連ご第69号

平成29年 1月26日

長野県知事 阿部 守一 様

住 所 長野県伊那市荒井 3500 番地 1

氏 名 上伊那広域連合

広域連合長 白鳥 孝

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	上伊那広域連合新ごみ中間処理施設整備事業
報 告 対 象 期 間	平成28年 10月 1日から 平成28年 12月31日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料のとおり
対 象 事 業 の 実 施 状 況	造成工事等実施段階 (詳細は別紙添付資料のとおり)

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

追加[平成11年規則第41号]

# 目 次

1、環境保全措置(工事中)の実施状況	
環境保全措置(工事中)の実施状況	3
添付資料①～⑩	6
2、対象事業の実施状況に係る図面、写真	
総合仮設計画図	17
工事工程表	18
主な工事写真	19

# 1. 環境保全措置（工事中）の実施状況

対象	内容	環境保全措置	環境保全措置			添付資料	
			種類	実施内容	実施状況		
1 大気質	(1) 工事関係車両の走行	住宅地を避けたルートの設定	回避	住宅地への影響を及ぼさないように、三峰川右岸道路を工事関係車両の走行ルートとする。	工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。	①②	
		搬入時間の分散	低減	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。			
		交通規制の遵守	低減	工事関係車両の走行にあたっては、速度や積載量等の交通規制を遵守する。			
		暖機運転(アイドリング)の低減	低減	工事関係車両を運転する際には、必要以上の暖機運転(アイドリング)をしない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入場者教育</li> <li>・朝礼・昼礼での打合せ</li> <li>・搬入管理アプリケーションの使用及び調整</li> <li>・災害防止協議会</li> </ul>		
		土砂搬出車両荷台のシート覆い	低減	土砂搬出時の経路に粉じん等を飛散させないように、土砂搬出車両の荷台をシート等で覆う。			場内再利用を行う為、搬出は行わない計画である。
		土砂運搬車両等のタイヤ洗浄	低減	土砂搬出車両を含む工事区域に出入りする車両のタイヤに着いた土砂は洗浄する。			土砂付着防止のため敷き鉄板を行った。万が一、土砂の持出が著しく多い場合は、出入り口にてタイヤの洗浄を行う。
		工事用出入り口の路面洗浄	低減	工事用出入り口の路面に土砂等が落下、流出してきた場合、散水し洗浄する。			現場間を通る市道・場内入口の定期的な清掃を行っている。
	(2) 建設機械の稼働	排出ガス対策型機械の使用	最小化	建設機械は、排出ガス対策型の建設機械を使用する。	低排出ガス型機械を使用し抑制を行った。	⑤	
		建設機械稼働時間の抑制	低減	建設機械は、アイドリング停止を徹底する。	以下の機会に工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入場者教育</li> <li>・昼礼での打合せ</li> <li>・災害防止協議会</li> </ul>	①②	
	(3) 建設機械の稼働に伴う粉じん	工事区域に仮囲いを設置	最小化	粉じんの飛散防止のため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する。	工事区域に仮囲いを設置した。	③	
排出ガス対策型機械の使用		最小化	建設機械は、排出ガス対策型の建設機械を使用する。	低排出ガス型機械を使用し抑制を行った。	⑤		
工事区域への散水		低減	土ぼこりの飛散防止のため、工事区域への散水を行う。	工事区域に散水を行い、土ぼこりの抑制を行った。	④		
2 騒音	(1) 工事関係車両の走行	住宅地を避けたルートの設定	回避	住宅地への影響を及ぼさないように、三峰川右岸道路を工事関係車両の走行ルートとする。	以下の機会に工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。	①②④	
		搬入時間の分散	低減	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。特に朝の通学時間帯は極力避けるよう配慮する。			
		交通規制の遵守	低減	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。			
	(2) 建設機械の稼働	工事区域に仮囲いを設置	最小化	工事区域外への建設作業騒音の伝搬を抑制するため、工事区域外周に工事用仮囲いを設置する。	仮囲いを設置し、騒音を抑制を行った。		③
		低騒音型機械の使用	最小化	建設機械は、低騒音型又は超低騒音型の建設機械を使用する。	低騒音型、超低騒音型の重機を使用し、騒音を抑制を行った。		⑤
		騒音発生が小さい工法の検討	最小化	杭打工事の工法は、騒音発生が小さい工法を検討する。	騒音発生源である杭打工事は計画しない。		-
建設機械の稼働時間の遵守		最小化	早朝・夜間及び日曜日は、騒音を発生させる作業は原則実施しない。	工事時間は、月曜日～土曜日 8:00～17:00とした。	①		
3 振動	(1) 工事関係車両の走行	住宅地を避けたルートの設定	回避	住宅地への影響を及ぼさないように、三峰川右岸道路を工事関係車両の走行ルートとする。	以下の機会に工事関係者に指導・教育を行い、周知徹底及び管理を行った。	①②④	
		搬入時間の分散	低減	工事関係車両が集中しないよう搬入時期・時間の分散化に努める。特に朝の通学時間帯は極力避けるよう配慮する。			
		交通規制の遵守	低減	工事関係車両は、速度や積載量等の交通規制を遵守する。			
	(2) 建設機械の稼働	低振動型機械の使用	最小化	建設機械は、低振動型の建設機械の使用に努める。	振動発生源である杭打工事は計画しない。		-
		建設機械の稼働時間の遵守	最小化	早朝・夜間及び日曜日は、振動を発生させる作業は原則実施しない。	工事時間は、月曜日～土曜日 8:00～17:00とする。		①

対象	内容	環境保全措置	環境保全措置			添付資料
			種類	実施内容	実施状況	
6 水質	(1) 土地造成・掘削 工事に伴う濁水	平常時 湧水の濁水化防止	低減	掘削時に湧出する湧水を一時貯留する場合、仮設タンク又はシート張り等を施した仮設調整池に貯留し、湧水の濁水化を防止する。	貯水タンク、本設調整池を利用し、一時貯水しながらPH測定を行うと同時に濁水の土砂を沈砂させる計画としている。	⑥
		平常時 湧水の濁りの監視	低減	湧水の濁りの状況を目視により監視し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。		
		降雨時 地区外流出抑制対策の実施	低減	地区外への流出量を抑制するため工事区域周囲に土のう、コンクリートブロック等の設置による流出防止対策を行う。		
		降雨時 仮設沈砂池の設置	低減	仮設沈砂池を設け、濁水の土砂を沈降させ、上澄みを放流する。		
		降雨時 雨水排水の濁りの監視	低減	降雨時には速やかに雨水排水の濁りの状況を目視により監視し、濁りが認められた場合には濁水を沈降させ、上澄みを放流する。		
	(2) 舗装工事・コン クリート工事に伴う 排水	アルカリ排水の中和	低減	コンクリート工事に伴うアルカリ排水が発生する時点においては、沈殿地等においてpH8.5以下に中和処理を行った後、排水する。		
水素イオン濃度の監視		低減	コンクリート工事に伴うアルカリ排水について、定期的に水素イオン濃度の監視を行う。			
7 水象	(1) 工事による影響	揚水量を低減する掘削工法 等の検討	最小化	効果的な掘削工法等の検討、設計に必要な調査(試験揚水)を実施する。	現場内にて、試験揚水を行い調査を行った。	⑥⑦⑧
		掘削深度の最小化	最小化	施設設計にあたっては、ピット掘削深度の最小化を図る。	ごみピット・プラットホームを2階とすることにより、掘削深度を最小化する計画としている。	-
		止水矢板等の設置による影 響範囲の最小化	最小化	止水矢板、地盤改良等により揚水量の最小化及び地下水位低下の影響範囲の最小化を図る。	掘削深度の最小化により揚水量の最小化を図る計画としている。	⑦⑧
		地下水位モニタリングの実 施	低減	掘削工事に伴う揚水期間中及びその前後において、周辺井戸におい地下水位の変動を確認する。また、その結果、周辺での地下水利用や地盤沈下等に影響を与える場合には、地下水位回復のために必要な措置を実施する。	掘削工事に伴う揚水が開始される平成29年1月より周辺井戸において地下水位の連続監視を実施する計画である。	-
9 地盤沈 下	(1) 工事による影響	揚水量を低減する掘削工法 等の検討	最小化	効果的な掘削工法等の検討、設計に必要な調査(試験揚水)を実施する。	現場内にて、試験揚水を行い調査を行った。	⑥⑦⑧
		掘削深度の最小化の検討	最小化	施設設計にあたっては、ピット掘削深度の最小化を図る。	ごみピット・プラットホームを2階とすることにより、掘削深度を最小化する計画としている。	-
		止水矢板等の設置による影 響範囲の最小化	最小化	止水矢板、地盤改良等により揚水量の最小化及び地下水位低下の影響範囲の最小化を図る。	掘削深度の最小化により揚水量の最小化を図る計画としている。	⑦⑧
		地下水位モニタリングの実 施	低減	掘削工事に伴う揚水期間中及びその前後において、周辺の水利用施設及び地下水低下の影響が考えられる地下水流向の下流側で地下水位の変動を確認する。また、その結果、周辺での地下水利用や地盤沈下等に影響を与える場合には、地下水位回復のために必要な措置を実施する。	掘削工事に伴う揚水が開始される平成29年1月より周辺井戸において地下水位の連続監視を実施する計画である。	-
		流動化物(砂等の礫間充填 物)を採取しない揚水方法 の採用	低減	地下水の揚水中に地質中に含まれる砂礫や礫間充填物を汲み上げるにより、地盤沈下の可能性があるため、これらの流動化する砂礫等採取しない揚水方法を採用することにより、地盤沈下の可能性を低減する。	揚水部の釜場へ、吸出し防止材を設け、砂礫及び、礫間充填物を採取しない揚水方法で揚水を行う計画としている。	⑦⑧
10 地形・ 地質	(1) 土地の安定性に 及ぼす影響	安全な掘削工法の検討	低減	掘削工法の検討にあたっては、土地の安定性に十分留意する。	掘削工法の決定にあたっては、地質調査にもとづき、土地の安定性に十分留意する計画としている。	-
		掘削深度の最小化の検討	最小化	施設設計にあたっては、掘削深度の最小化を図る。	ごみピット・プラットホームを2階とすることにより、掘削深度を最小化する計画としている。	-
11 植物	(1) 地形改変による 影響	可能な限りの敷地内の緑地 整備	修正	周辺環境との調和に配慮し、駐車場と一体的に緑地整備を行うなど、可能な限り敷地内の緑地整備を行う。	緑地整備を計画中である。	-
		生物多様性の確保及び自然 環境の体系的保全を考慮し た緑地の創設	修正	緑地の創設に際しては、周辺に生育する在来種を中心に使用した緑化を行う。	緑地整備を計画中である。	-
		調整池の設置	代償	調整池を設置することにより、水田及び休耕田が有する保全機能(雨水等の貯留機能)を代替する。	調整池を設置し、保全機能を代替している。	⑥

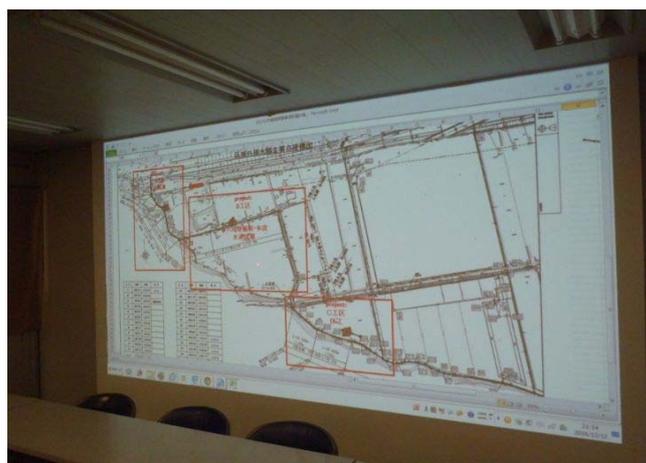
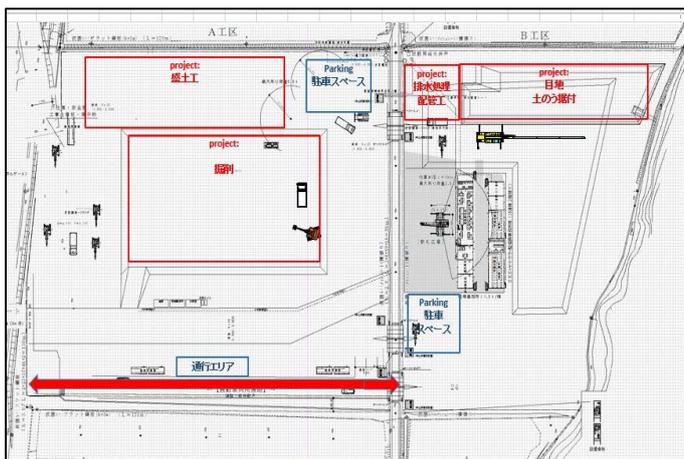
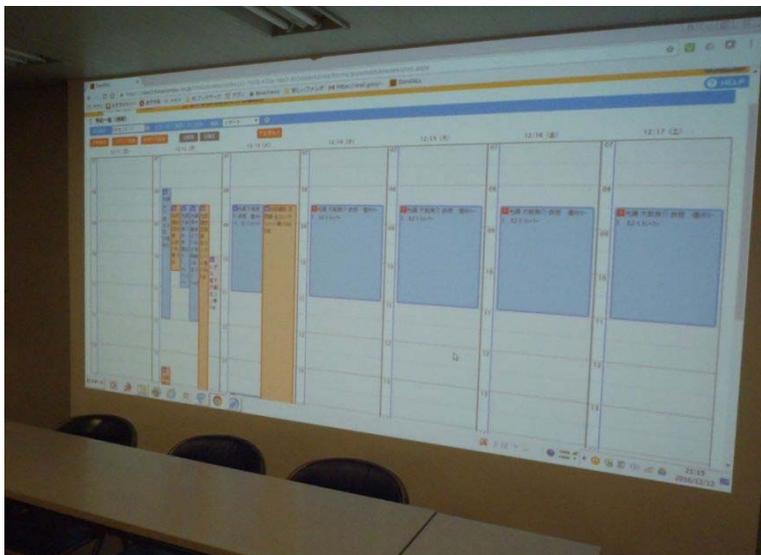
対象	内容	環境保全措置	環境保全措置			添付資料
			種類	実施内容	実施状況	
12 動物	(1)土地造成、掘削等の建設作業に伴う影響	注目すべき種の生息基盤や個体の保全 【昆虫類】 ・ミヤマシジミ	最小化・代償	三峰川左岸堤防沿いの搬入路の整備に際しては、ミヤマシジミの生息環境（産卵場所や幼虫の食草となるコマツナギの生育地）の改変量を最小化する。 また、専門家の助言を受けながら、工事中の生息域外保全を行い、最終候補地等にコマツナギが生育する環境を復元した後、個体を移植する。	三峰川左岸堤防沿いの搬入路の整備に際しては、ミヤマシジミの生息環境（産卵場所や幼虫の食草となるコマツナギの生育地）の改変量を最小化した。 また、専門家の助言を受け、最終候補地等にコマツナギが生育する環境を復元した後、個体を移植した。	平成28年度事後調査報告書参照
		注目すべき種の移植 【昆虫類】 ・ベニモンマダラ	代償	土地造成等の工事前に個体を採集し、最終候補地周辺のクサフジ等が生育する環境へ移植する。	7月7日、8日に平成27年移植地及び周辺を対象に、ベニモンマダラの生息状況のモニタリングを行った。 調査の結果、平成27年移植地付近でベニモンマダラの成虫1個体が確認された。また周辺ではクサフジの生育する三峰川堤外地の草地で成虫5個体が確認された。	平成28年度施工状況報告書(第2四半期)参照
		注目すべき種の個体の保全 【両生類・爬虫類】 ・アカハライモリ ・トノサマガエル 【昆虫類】 ・コオイムシ ・タイコウチ ・シロヘリツチカメムシ ・ミイデラゴミムシ ・ケシゲンゴロウ ・シジミガムシ ・コガムシ ・ガムシ ・ゲンジボタル 【底生動物】 ・ヒラマキミズマイマイ 【陸・淡水産貝類】 ・ヒラマキガイモドキ ・カタママイマイ	低減	工事における個体の損失を最小限にする。	平成27年4月より対象事業実施区域内の水田内に水を入れないようにすることで区域内の生息等を抑制し、工事における個体の損失を最小限とした。	-
15 触れ合い活動	(1)三峰川サイクリング・ジョギングロード	利用者への安全対策の実施(工事中)	低減	導入路(D案)の造成時に、三峰川サイクリング・ジョギングロードと導入路が交差する部分には安全監視員を配置して、利用者の安全に配慮する。	誘導員を配置し、安全に配慮している。	⑨
		工事実施時期の配慮	最小化	導入路(D案)の造成時に三峰川サイクリング・ジョギングロードが使用できなくなる場合は、その時期を施設利用者が比較的少ない冬季となるよう計画する。	サイクリング・ジョギングロード利用者に対し、一部通行止めの区間及び時期がある旨を看板により知らせ、供用区間に折り返し地点表示を設置して、施設利用者への配慮を行っている。	⑨
16 廃棄物	(1)工事による影響	建設発生土の再利用	低減	掘削工事における発生土は、場内での埋め戻し等として再利用し、その他の残土は他の工事現場での再利用を図る。	場内発生土を造成盛土として再利用している。	⑩
		木くず、アスファルト殻、コンクリート殻の再生利用	低減	コンクリートくず、金属くず、木くず等は、可能な限り資源として再生利用する。	コンクリートくず、金属くず、木くずは再生資源として搬出する。	⑩
		現場での分別排出	低減	発生した廃棄物については、可能な限り現場で分別を行い排出する。	現場発生廃棄物は分別搬出を行っている。	⑩

## 大気質・騒音・振動に係る環境保全措置の実施状況

### ■毎日の打合せ（1日1回）における作業時間、作業範囲等の確認

#### 周知内容

- ・ 搬入時間の調整（搬入調整アプリケーションの使用）
- ・ 建設機械の稼働範囲
- ・ 作業エリアの確認 等



### ■災害防止協議会・安全大会における作業エリア・重機稼働範囲・稼働時間確認

#### 周知内容

- ・ アイドリング防止
- ・ 交通規則の厳守 等



# 大気質・騒音・振動に係る環境保全措置の実施状況

## ■新規入場者教育資料①

通学路・交通安全への配慮等を記載したもので指導・教育を実施

■ 共 通 ■  
上伊那広域連合 新ごみ中間処理施設建設工事 作業員の皆様へ rev.03

**【工事概要】**

- ・ 施設：ごみ焼却炉の新築工事
- ・ 期日：5/27～、6/2、5/31
- ・ 期日：5/27～5/31、6/2～5/31
- ・ 工期：平成29年9月から平成31年3月（約2年半）

**【施設概要】**

- ・ 建築面積：4,675㎡
- ・ 延床面積：1,905㎡
- ・ 高さ：建物 28.5m、煙突 39m
- ・ ごみの処理能力：18t/日（39t/21h×2系統）
- ・ 高効率ボイラ燃焼設備
- ・ 高効率ボイラ燃焼機（最大出力1,900kW）

**【施工サイクル】**

○ 日登サイクル

- ・ 8:00～ ラジオ体操・朝礼
- ・ 8:15～ TBM活動・新規入場者教育（TBMは全員で輪になって行い、サインをする）
- ・ 12:00～ ランチ作業計画打合せ
- ・ 13:00～ 職員会
- ・ 17:00～ 片付・清掃

○ 週間サイクル

- ・ 毎週水曜日 15:30～15:45 現場内一斉清掃
- ・ 毎週金曜日 11:30～12:00 リーダー会パトロール
- ・ 毎月第二水曜日 日間サイクル
- ・ 第4金曜日 13:00～14:00 災害防止協議会
- ・ 第1土曜日 13:00～13:30 復讐安全大会

**【現場作業遵守事項】**

**一般事項**

1. 作業日は原則日曜日から土曜日、作業時間は午前8時から午後5時までとする。残業がある場合はJVに届出の事。
2. 現場内では必ず保護帽を正しく着用し、指定の安全ベストを着用し作業する事。
3. 場内での資材の仕舞いは「バックホウ」の持ち手を用いて、警視者を定め、着払い整理整頓に努める事。
4. 資材は原則に置かず、居室中央に集めるようにする。細かな資材も自車等を利用して集める事。
5. 場内の安全通路は常に確保する事。（場内に表示有り）資材置場、加土場としない事。（掘下作業時は迂回路を設ける事）
6. 駐車を「バックホウ」を確保する際は必ず片側並列とする事。（バックホウを確保する際は必ず片側並列とする事）

**通学路・交通安全**

7. 敷地間の市道の通行及び南側県道からの進入は禁止です。所定の運行経路を確認し遵守する事。また、市道を横断する際は必ず一時停止を行ない第三者優先とする事。
8. 工事車両の通行にあたっては、一般車両及び歩行者等の通行を最優先とし、特に登下校時は、生徒の交通安全に十分配慮し通行する事。
9. 搬入車両がある場合は、必ず前日の職員会までに「資機材搬入・揚重管理システム」に登録する事。
10. 駐車は、場内駐車場及び場外指定駐車場に限定し、路上駐車を行わない事。
11. 工事車両による土砂の持ち出し抑制に努め、工事現場から公道上への土砂の持ち出しが認められた場合は、すみやかに申し出る事。
12. 場内は多くの工事車両が行き交います。徐行運転（時速20km以下）で走行する事。
13. 場内の駐車場は前向き駐車をします。
14. 南側県道は地元の方が多く通行する道路である為、工事車両の通行は絶対厳禁とする。必ずナイスロードを通行する事。

**作業計画・実施**

15. 各工事での無計画作業は重大災害に繋がります。各作業員に周知すること。作業終了後は必ず工事担当者に報告し作業を行う事。
16. 予定外作業発生時は現場代理人に報告の上J&V活動を実施するものは持ち込まない事。
17. 持ち込みは、職機は作業開始前を確保する。途中に発生した事故、けが、苦情等については、小さなものでも直ちに、現場責任者へ報告する事。（けがを掛ける。）
18. 高所作業（2m以上）では、安全帯を常時身につけ、必ず係留する事。（けがを掛ける。）
19. 資材が必要な作業は、必ず、右折者が行う事。
20. 仮設、安全施設、安全装置（足場、懸交い、橋脚、安全柵）は指示通りに設置し、変更が必要な場合は必ず現場代理人の指示に従う事。
21. 仮設、安全施設、安全装置（足場、懸交い、橋脚、安全柵）は指示通りに設置し、変更が必要な場合は必ず現場代理人の指示に従う事。
22. 道路横断、バックホウの取組の際は、迂回路には絶対に進入しない。また人を立ち入らせない事。
23. はしごは固定して使用し、両手を使って昇降する事。
24. その他、労働安全衛生法等の法令・規則、および現場代理人の指示には必ず従う事。

**環境保全**

25. 現場内及び駐車場で、作業車両以外は必ずエンジンを止めてアイドリングを行わない事。
26. 喫煙は休憩所（指定喫煙所）小車の中でする事。駐車場内でも車の扉を閉め、車外では喫煙しない事。指定喫煙所以外での喫煙は一切禁止。現場内へのタバコ、ライターの持ち込みは一切禁止。
27. 全員で使用する休憩所・仮設トイレは指示の内幕表に則り清掃を行う事。
28. 飲酒の禁止、コンプレックス等の飲酒、喫煙など飲酒喫煙は禁止。3時～持ち帰る事。
29. 産業廃棄物は分別して、指定された方法で適切に処理する事。

**通学路・交通安全**

7. 敷地間の市道の通行及び南側県道からの進入は禁止です。所定の運行経路を確認し遵守する事。また、市道を横断する際は必ず一時停止を行ない第三者優先とする事。
8. 工事車両の通行にあたっては、一般車両及び歩行者等の通行を最優先とし、特に登下校時は、生徒の交通安全に十分配慮し通行する事。
9. 搬入車両がある場合は、必ず前日の職員会までに「資機材搬入・揚重管理システム」に登録する事。
10. 駐車は、場内駐車場及び場外指定駐車場に限定し、路上駐車を行わない事。
11. 工事車両による土砂の持ち出し抑制に努め、工事現場から公道上への土砂の持ち出しが認められた場合は、すみやかに申し出る事。
12. 場内は多くの工事車両が行き交います。徐行運転（時速20km以下）で走行する事。
13. 場内の駐車場は前向き駐車をします。
14. 南側県道は地元の方が多く通行する道路である為、工事車両の通行は絶対厳禁とする。必ずナイスロードを通行する事。

## ■新規入場者教育資料②

運行通路について決まりを記載したもので確認実施

### ■お願い■ 運送・打合わせ・資材運搬等 工事関係車両 の皆さまへ

○大型車両及び特殊車両資機材 運搬経路図



### ■工事現場へ御越しの各関係車両の皆様へ

\* 地元の皆様・発注者様共、安全のため

上記のように通行ルートを決めております。

違反が見受けられる場合は入場をお断りします。

ご理解ご協力をお願いいたします。

#### 【資機材搬入ルート】

主要ルートは、三峰川沿い「ナイスロード」を通行し、三峰川橋を右折します。三峰川橋南交差点では、

①H28年9月～H29年5月まで：

交差点を高速方面へ左折し、河川敷経由にて入場します。

②H29年5月以降（市道整備完了後）：

交差点を右折にて入場します。

## 大気質・騒音・振動に係る環境保全措置の実施状況

### ■仮囲い設置状況（h=3000）



□西側鋼板パネル設置状況（h 3000）



□西側鋼板パネル設置状況（h 3000）

### ■ダンプ通行エリア鉄板敷き実施状況



## 大気質・騒音・振動に係る環境保全措置の実施状況

### ■粉じん防止のための散水車による散水実施状況



### ■搬出入口付近の高圧洗浄機による洗浄実施状況



### ■過積載防止対策・解体材搬出時簡易計測器設置確認実施状況



## 大気質・騒音に係る環境保全措置の実施状況

### ■低排出ガス・低騒音型機械の稼働状況



## 水質に係る環境保全措置の実施状況

### ■調整池設置状況（掘削工事期間中より使用開始予定）



## 水象に係る環境保全措置の実施状況

### ■現場揚水試験実施状況（既存井戸：旧水源地利用）



## 水象・地盤沈下に係る環境保全措置の実施状況

### ■ボーリング調査結果 (NO.2 柱状図) 及び調査結果に基づき計画したごみピット掘削最深度

事業・工事名 上伊那広域連合 新ごみ中間処理施設建設工事

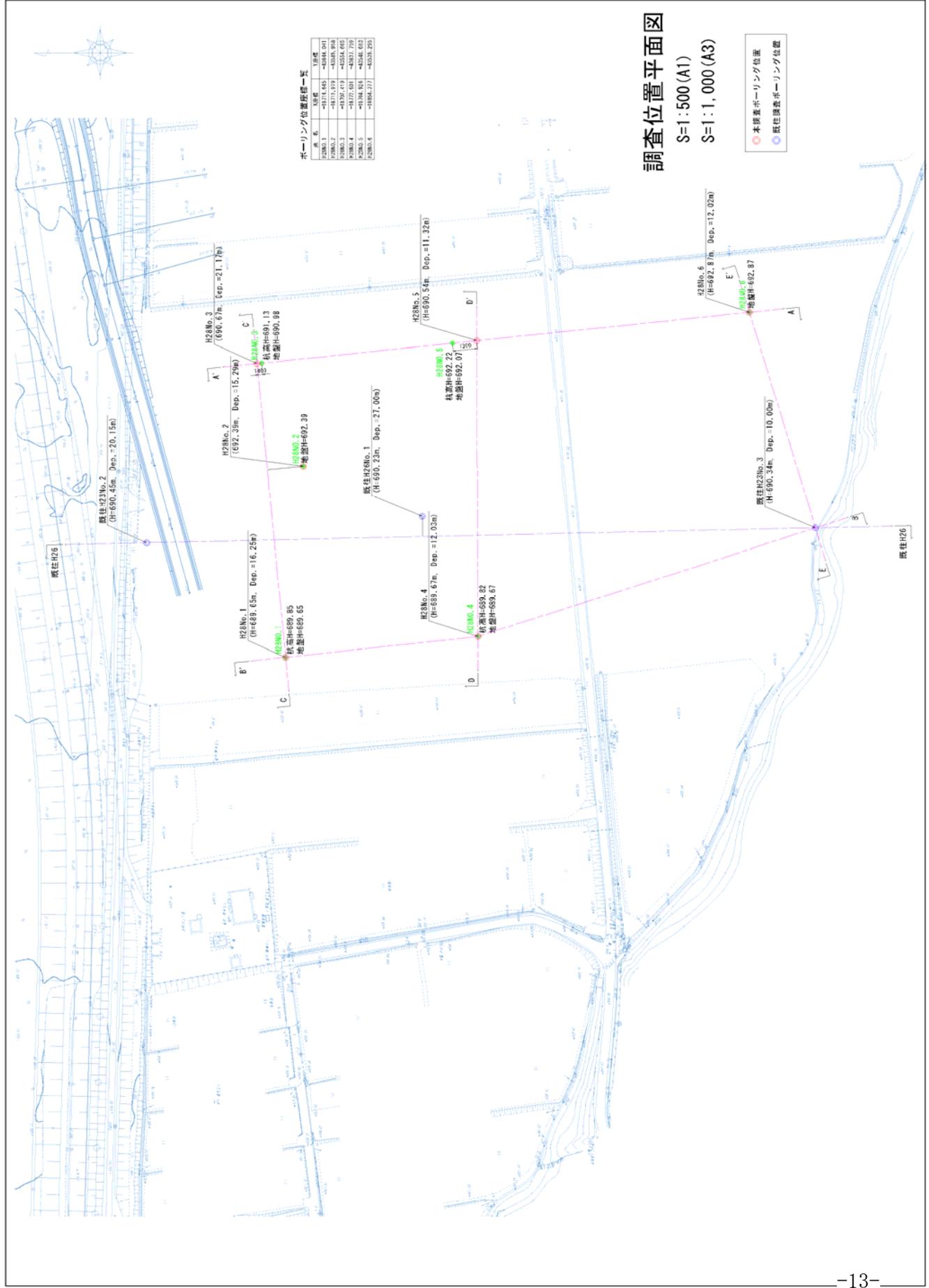
シートNo

ボーリング名	H28No.2		調査位置	長野県伊那市富県3790番地ほか			北緯				
発注機関	上伊那広域連合			調査期間	平成28年4月20日～28年4月26日		東経				
調査業者名	神鋼・ヤマワラ特定建設工事共同企業体 電話(0265-98-7135)		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者				
孔口標高	H=692.39m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 東	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 YBM-05 エンジン YANMAR NFD9	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	15.29m	度	0°	向					ポンプ	KANO V5-P	

標尺 (m)	層高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験 (掘進)		
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	値					
1	689.99	2.40	2.40	盛土(玉石混じり砂)	灰褐色		表土を覆う硬質土主体の成土層。土質は玉石混じり砂。粒径はφ2~50mm程度の亜角~亜円礫。基質は細粒分を混合する細~粗砂。全体に硬分を多く混入。含水低位。層厚ではφ50~350mm程度の礫を混入。	4/25 5/24	0	10	20	30				4/20	
2									3.15	5	33	22	60				
3									3.43								
4									4.15	13	15	15	43				
5									4.15								
6									5.15	8	17	35	60				
7									5.45								
8	684.33	5.60	8.00	玉石混じり砂礫	暗灰	中位の、非常に密な	河床堆積物 粒径はφ2~30mm程度の亜角~亜円礫。コア長30~100mm程度(片状~短柱状)の玉石を混入。基質は砂質・頁岩・チャート・花崗岩を主とする。基質は細粒分を少量混合する細~粗砂。含水低~中位。	4/25 5/24	6.35	32	28	60	20				4/21
9									6.35								
10									7.15	26	20	14	60				
11	680.89	3.70	11.70	シルト質砂礫	褐灰	非常に密な	段丘堆積物 粒径はφ2~30mm程度の亜角~亜円礫主体。コア長30~100mm程度(片状~短柱状)の礫・玉石を混入。基質は砂質・頁岩・チャート・花崗岩を主とする。基質は細粒分を多く混合する細砂。やや固結。含水中位。	4/25 5/24	7.40	19	20	21	60				4/22
12									8.10								
13									8.38								
14									9.05	21	20	19	60				
15	677.10	3.50	15.20	強風化花崗岩	黄灰		強風化花崗岩類 全体に強風化。マサ土状を呈す。本層上部はやや粘土化。部分的に固結部を介在。原岩組織を残す。長石類は数個白色化。固結部は指圧で潰れ、砂状を呈す。岩域区分級。	4/25 5/24	9.33	60			60				4/25
16									10.03	5			5				
									10.10								
									11.13	17	43	8	60				
									11.33								
									12.13	6	13	41	60				
									12.39								
									13.10	19	15	16	50				
									13.40								
									14.10	20	33	7	60				
									14.31								
									15.13	36	24	4	60				
									15.29								

水象・地盤沈下に係る環境保全措置の実施状況

■ボーリング調査位置平面図



## 触れ合い活動の場に係る環境保全措置の実施状況

### ■安全監視員配置状況



### ■サイクリング・ジョギングロード通行止めお知らせ看板



### ■折り返し地点距離表示 (5km)



### ■折り返し地点距離表示 (7km)



### ■折り返し地点距離表示 (10km)



## 廃棄物に係る環境保全措置の実施状況

### ■廃棄物分別フックロール設置状況



### ■廃棄物搬出時シート掛け実施状況



## 2. 対象事業の実施状況に係る図面、写真





## 主な工事写真

### ■造成工事施工状況



### ■調整池工事施工状況



### ■排水路設置工事施工状況

